

# 防災訓練ってどう決めるの？

防災訓練は、自治会防災部を中心とした地域 / 住民ボランティアが企画する、住民参加を目的とした手作りの訓練です。

今回1月17日の防災訓練について、その計画策定までのプロセスを紹介します。

## 防災部企画会議 ... 着手は7月

自治会防災部企画会議は毎月開かれます。1月訓練は、9月防災訓練企画で盛り込めなかったことなどを考慮して、7月の企画会議から議論を始めました。

※防災企画会議は、防災担当の自治会副会長を議長に、会長、総務、書記、役員委員、家庭防災員で開催します。メンバーは全員地域 / 住民のボランティアです。

ちなみに、7月の防災企画会議の決定事項はこんな感じでした。

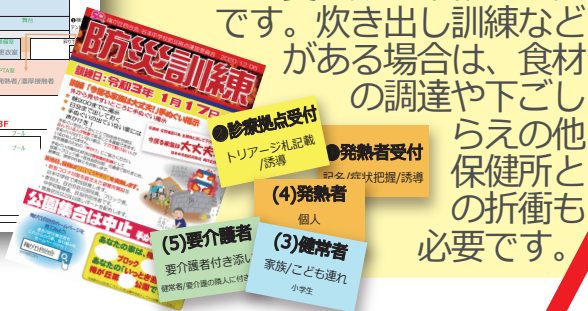
- 1) 9月防災訓練は、コロナの影響を考慮して、手ぬぐい掲示と紙芝居とする（最終決定）
- 2) 防災備品の数量の設定根拠を区に確認する
- 3) 1月防災訓練には高齢者 / 障害者支援の訓練を取り入れることを検討する
- 4) 災害時、誰が役員がすぐわかる表示（ビブスや腕章）の導入を検討する

## 手分けして準備

企画会議での決定に基づき、10月頃から自治会メンバーが手分けして準備を始めました。行政（青葉区や消防署など）や谷本中学校との調整、防災関連業者（青葉防災）への協力要請、計画文書や配布物、訓練で使う掲示物などの作成、物品の調達、ボランティア集め、など準備は多岐にわたりました。



周知のためのチラシ、訓練で使うゼッケンや表示、避難者の誘導ルートの設定などなど、書類だけでも大変な数の準備が必要です。炊き出し訓練などがある場合は、食材の調達や下ごしらえの他、保健所との折衝も必要です。



谷本中学校地域防災拠点運営委員会は、梅が丘自治会長を委員長として、自治会防災部、校長先生以下谷本中学校関係者、子どもやお年寄りなど災害弱者の関係者（子供会や校外委員、梅和会、民生委員など）、行政（青葉区役所や青葉土木事務所）が、その委員となっています。

## 防災拠点運営委員会で決定

防災訓練は地域防災拠点である谷本中学校や行政などと連携して実施します。計画は、12/4の防災拠点運営委員会で最終決定しました。この決定に基づき、12/5の自治会定例会でブロック長他役員の皆さんに訓練の内容を説明し、協力を要請しました。

今回訓練の計画では、感染拡大の状況に対する懸念から、12/15に委員から訓練の縮小または中止の提案がありました。訓練の重要性から、行政からは訓練実施を強く勧められましたが、高齢者が多く感染リスクが高い、という梅が丘の地域特性を考慮し、自治会としては、訓練のうち集合して実施する部分の中止を12/25に決定しました。

梅が丘自治会では、地域の安全のため、毎回本気で防災訓練を計画、実行しています。大変ですが、地域のため、家族のため、やりがいがあります。一緒に取り組んでみませんか？ご興味のある方は班長、ブロック長、自治会役員まで！



# 自治会防災部が半年かけて企画します